

北海道浮魚ニュース

平成 21(2009)年度 8 号 (通巻 No. 279)

2009 年 7 月 17 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 17 日に平成 21 年度第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報文が、水産庁より発表されました。詳細な予報文は下記のホームページに掲載されます。

※水産庁 URL : <http://www.jfa.maff.go.jp/release/index.html>

今後の見通し (2009 年 7~9 月)

対象魚種 : スルメイカ

予測海域 : 道東太平洋海域、
津軽海峡~道南太平洋海域、
常磐~三陸海域

対象漁業 : いか釣り、底曳網、定置網、まき網

対象魚群 : 冬季発生系群 (2009 年級群)

● 道東太平洋海域 (いか釣り、底曳網)

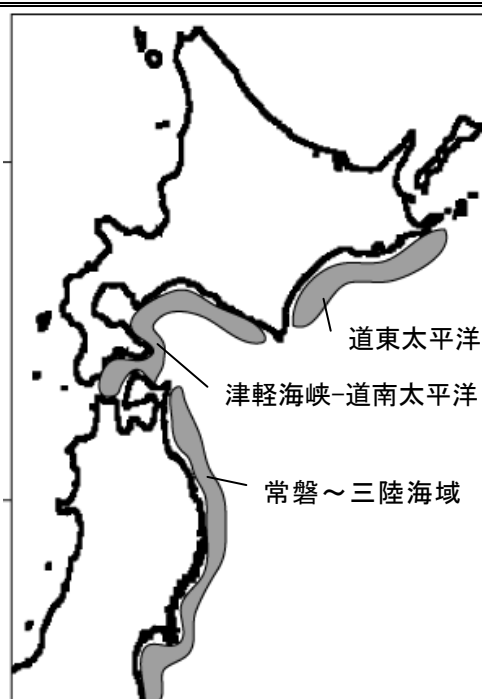
- ・ 来遊量 : 前年を上回る。
- ・ 漁期・漁場 : 漁場形成は前年より早い。
- ・ 魚体 : 前年よりも大きい。

● 津軽海峡~道南太平洋海域 (いか釣り、定置網)

- ・ 来遊量 : 前年並みか下回る。
- ・ 漁期・漁場 : 期間を通じて漁場となる。
- ・ 魚体 : 前年よりも大きい。

● 常磐~三陸海域 (いか釣り、底曳網、定置網、まき網)

- ・ 来遊量 : 前年を上回る。
- ・ 漁期・漁場 : 期間を通じて漁場となる。
- ・ 魚体 : 前年よりも大きい。



※ 今年 6 月の太平洋スルメイカ漁場一斉調査の結果、スルメイカは津軽海峡や東北地方の沿岸から太平洋の沖合まで広く分布していました (図 1)。調査海域全体の分布密度は前年をやや下回りましたが (図 2)、道東太平洋の南の沖合に多く分布していました (図 1)。このことから、来遊量は道東太平洋で「前年を上回る」、津軽海峡~道南太平洋では「前年並みか下回る」となっています。

スルメイカの大きさはどちらの海域も前年よりも大きくなっていくことから (図 3)、前年よりも大型の予想です。

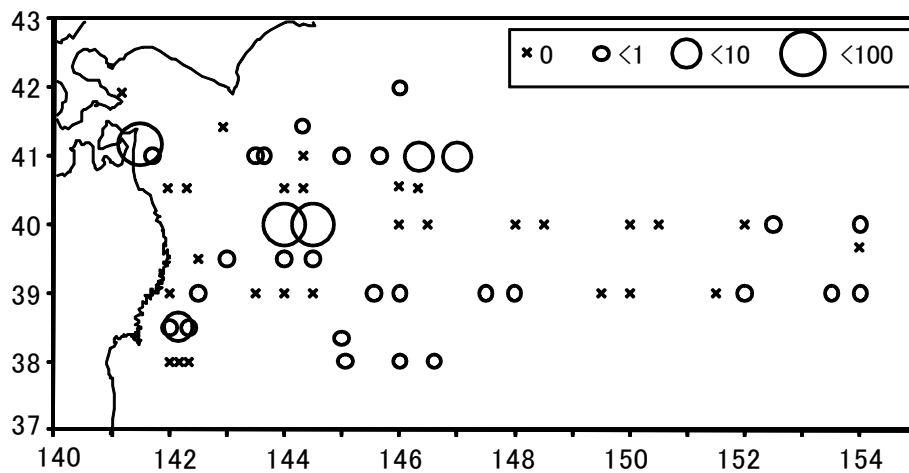


図1 2009年6月の太平洋漁場一斉調査におけるスルメイカの分布密度
※分布密度はCPUE(イカ釣機1台1時間当りの平均漁獲尾数)で示した。

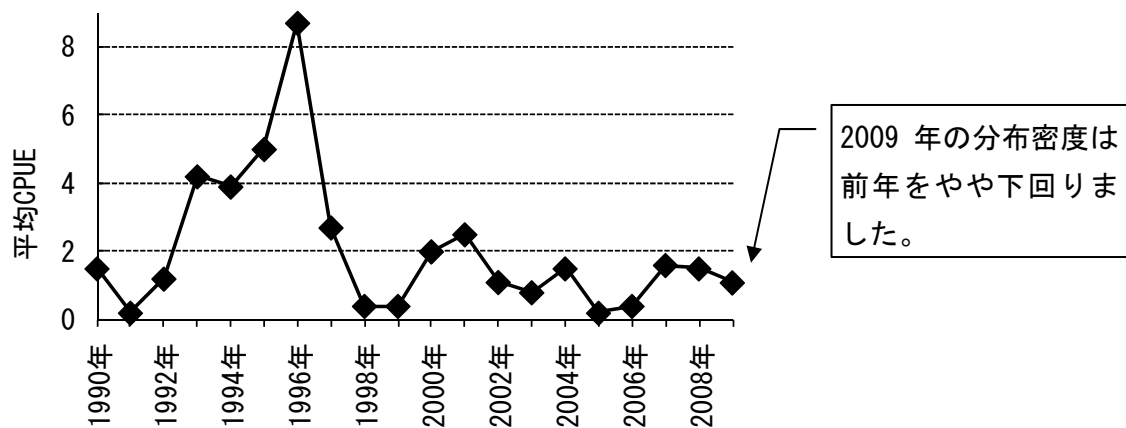


図2 6月の太平洋漁場一斉調査における調査海域全体のスルメイカの分布密度

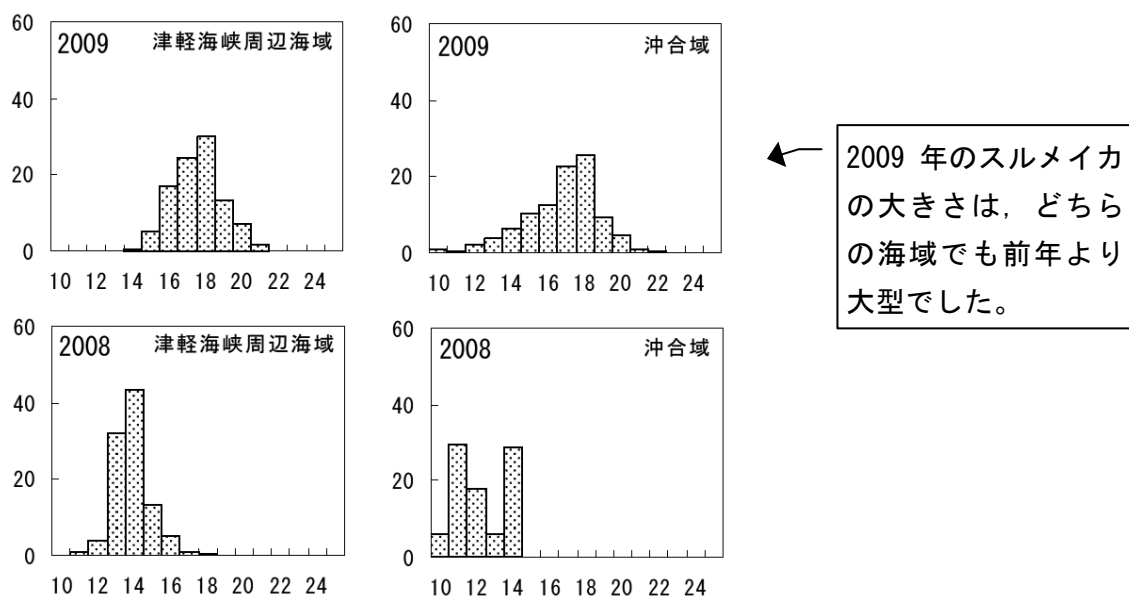


図3 6月の太平洋海域におけるスルメイカの外套長組成(注:沖合域は東経143°以东)

注)図やその元データは平成21年度第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報会議資料より。

(文責:釧路水産試験場資源管理部, TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)